

# ありがとう わたしたちの情島小中学校

明治21年に和田村弘道小学校が油田尋常小学校になることに伴い、分教場として情島に設置されて以来、128年間、情島の教育・文化の中心として歴史を刻んできた情島小中学校。  
近年になって急激に進んだ過疎、少子・高齢化により、平成18年12月には島内の子どもがいなくなり、情島小中学校には隣接する児童養護施設あけぼの寮に入所している子どもたちのみとなりました。以降、児童・生徒数は徐々に減少傾向にあったものの、地域住民は温かく子どもたちを包み込み、子どもたちの笑顔は地域を照らし、開校以来変わることなく、いつも地域と共にあった情島小中学校。このたび、あけぼの寮が町外へ移転することになり、平成29年3月末をもって惜しまれつつ休校となりました。



最後の学校祭での大島音頭

情島小中学校校歌より

情島小中学校 校長 田邊 克



「山口県のあけぼのをはじめに仰ぐ東の海」星野哲郎先生作詞の校歌にあるように山口県で一番東にある情島小中学校が三月末をもって休校になりました。子どもたちの元気な声が響いていた教室もグラウンドも静かに眠りに就いていることでしょう。

「努力の二字で不可能の三つの文字を消してゆこう」離島という環境でしたが、豊かな自然に囲まれ、子どもたちの頑張りや温かい保護者や島のみなさんの御厚意で充実した学校教育を行うことができました。

「この学び舎に吹き寄せる慈愛にみちたふるさとの心を明日に伝えよう、心を明日に情島」子どもたち、そして情島小中学校に対するさまざまな御支援、御協力ありがとうございました。



▶昭和30年代の全校朝礼の様子



▶たくさんさんの児童生徒が巣立っていった学び舎